

DALI OBERON

1 C - 7 C - ON-WALL C - VOKAL C

マニュアル



IN ADMIRATION OF MUSIC



目次

1. OBERON Cの概要	3
2. 開梱	4
3. 配置と据付	6
3.1 OBERON 1 CとOBERON 7 C – 配置	9
3.2 OBERON 7 C – フロアスパイクまたは足	10
3.3 OBERON ON-WALL C – 配置	11
3.4 OBERON VOKAL C – 配置	12
3.5 OBERON 1 CおよびON-WALL C壁掛け機能の使用	13
4. スピーカーの接続と設定	15
5. リスニングと使用	20
6. 異常の表示	22
7. 技術仕様	23

はじめに

この度はDALI OBERON Cスピーカーをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。DALIは、音楽の体験を向上させるため絶えず努力を重ねるとともに、生活や住居により適したオーディオ製品を設計することで高い評判を得ています。OBERON Cシリーズのアクティブワイヤレススピーカーは、これら2つの目標を見事に具現化したものです。

OBERON Cスピーカーは技術的に高度な電子音響製品で、その性能を最大限に引き出すには慎重な据付が必要です。OBERON Cスピーカーを据え付ける際には、このマニュアルをよくお読みになり、記載されたアドバイスに従うことをお勧めします。また、ドキュメントパックに含まれた重要な安全に関する注意事項もお読みください。

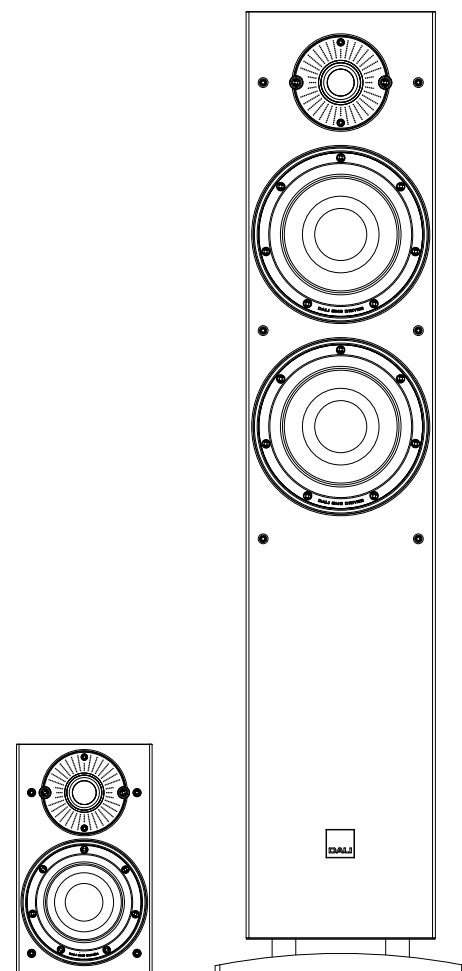
マニュアルではこの「はじめに」の後に、開梱、配置と据付、セットアップと使用に関するトピックがカバーされていますが、最初にOBERON Cシリーズの概要を簡単にご紹介します。

1. OBERON Cの概要

OBERON Cシリーズは、ステレオやマルチチャンネルのホームシアターシステムで使用するための4つのアクティブワイヤレススピーカーモデルである、OBERON 1 C、OBERON 7 C、OBERON ON-WALL C、およびOBERON VOKAL Cによって構成されています。

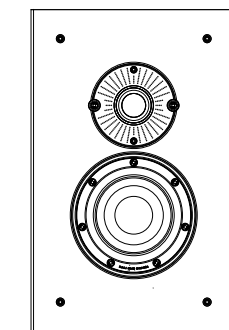
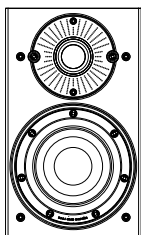
OBERON 1 Cは、壁やスタンド取り付け用のコンパクトスピーカーです。OBERON 7 Cは床置き型のスピーカーです。OBERON ON-WALL Cは、壁取り付け用に特別に設計された薄型スピーカーです。また、OBERON VOKAL Cは、ホームシアターのセンターチャンネル用として主に設計されたセンターチャンネルスピーカーです。

OBERON Cシリーズは、DALI SOUND HUBまたはDALI SOUND HUB COMPACTワイヤレスストリーミングプリアンプのいずれかとの組み合わせで使用する目的で特別に設計されています。SOUND HUBおよびSOUND HUB COMPACTを使うと、さまざまな従来型のハードウェアやストリーミングからの音源を、接続されたそれぞれのOBERON Cスピーカーに伝送することが可能です。

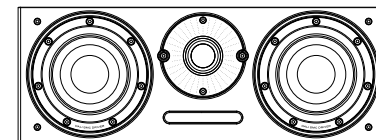


OBERON 1 C

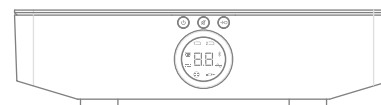
OBERON 7 C



OBERON ON-WALL C



OBERON VOKAL C



SOUND HUB



SOUND HUB COMPACT

注意:

OBERON Cスピーカーは、DALI SOUND HUBまたはSOUND HUB COMPACTと併せて使用でき、従来型のステレオとホームシアターの両方の用途に適しています。ただし、マルチチャンネルのホームシアターオーディオをブロードキャストできるのは、オプションのHDMIモジュールが搭載されているDALI SOUND HUBのみです。DALI SOUND HUB COMPACTはステレオオーディオ専用設計されています。



IN ADMIRATION OF MUSIC

2. 開梱

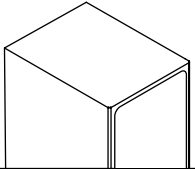
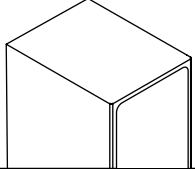
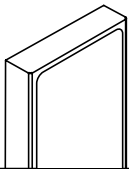
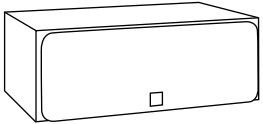
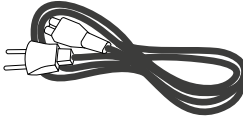
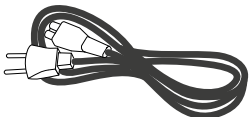
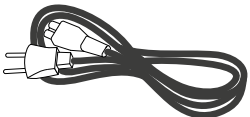
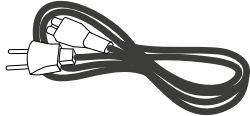
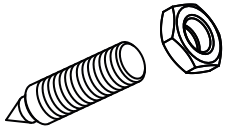
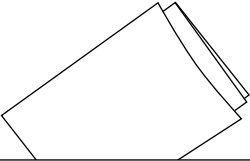
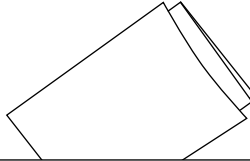
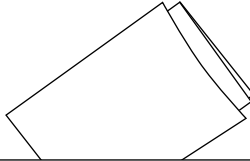
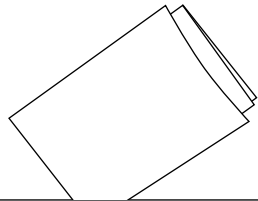
各DALI OBERON Cパックの内容を
図1に示します。

DALI OBERON Cスピーカーは慎重に開梱してください。特にベースドライバーのコーンやツイーターのドームに触れないように注意してください。

注意：

将来使用する際に備えて
OBERON Cのパッケージを保管
しておくことをお勧めします。それが
可能でない場合は、責任を持って
処分してください。

図1

1 C	7 C	ON-WALL C	VOKAL C
			
×2	×1	×1	×1
			
×2	×1	×1	×1
			
×8	×4	×4	
			
×8	×4	×2	×4
			
×1	×1	×1	×1

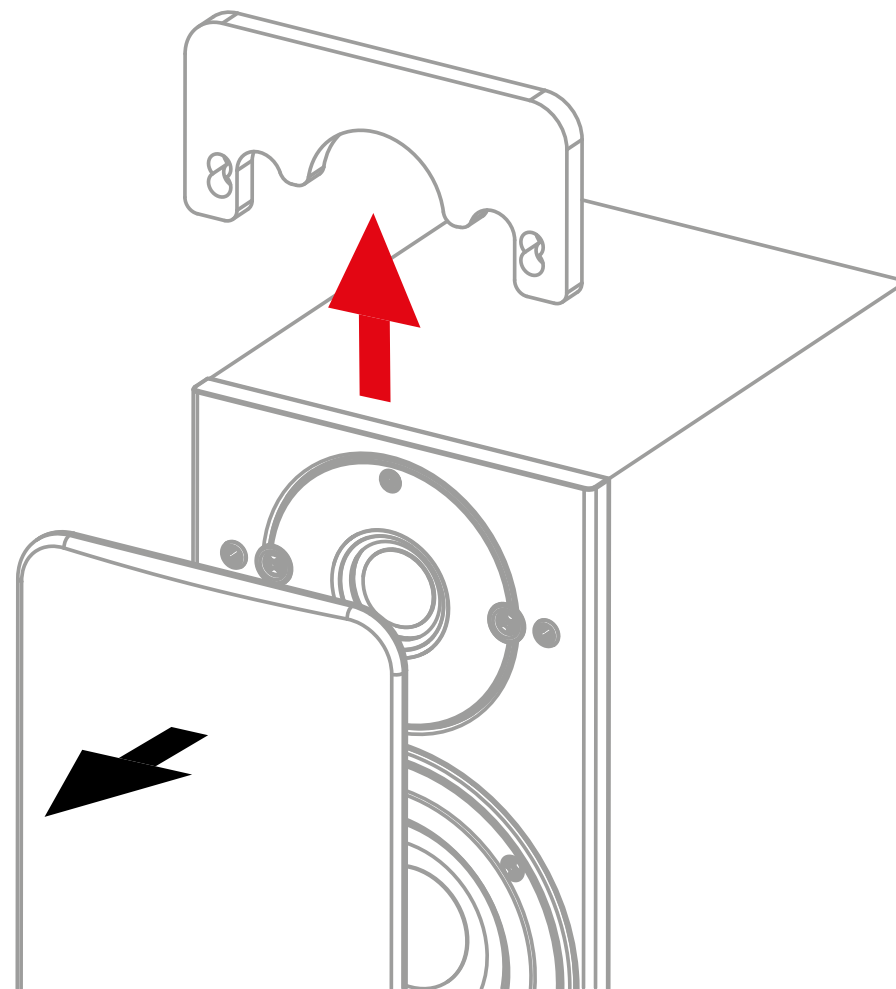


IN ADMIRATION OF MUSIC

2. 開梱

DALI OBERON Cスピーカーはグリルが取り付けられた状態で出荷されていますが、スピーカーを使用する前に、グリルの下にあるツイーター保護マスクを取り外す必要があります。マスクを取り外すには、スピーカーグリルをキャビネットからゆっくり引っ張って取り外し、マスクを持ち上げて外し、グリルを取り付け直します。これは図2に示してあります。

図2



3. 配置と据付

リスニング空間におけるスピーカーの配置は発揮できる性能に影響するため、OBERON Cスピーカーの最適な設置場所を時間をかけて検討する価値があります。図3A、3Bおよび3Cは、従来型のステレオとマルチチャンネルのホームシアターシステム用の配置方法のガイドラインを示しています。

図3A – ステレオ用のセットアップ
DALI OBERON 1 Cおよび7 C

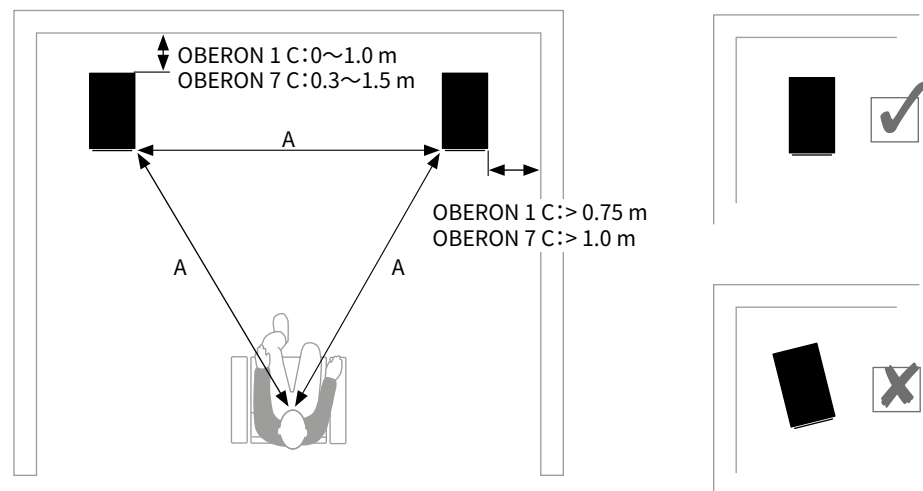
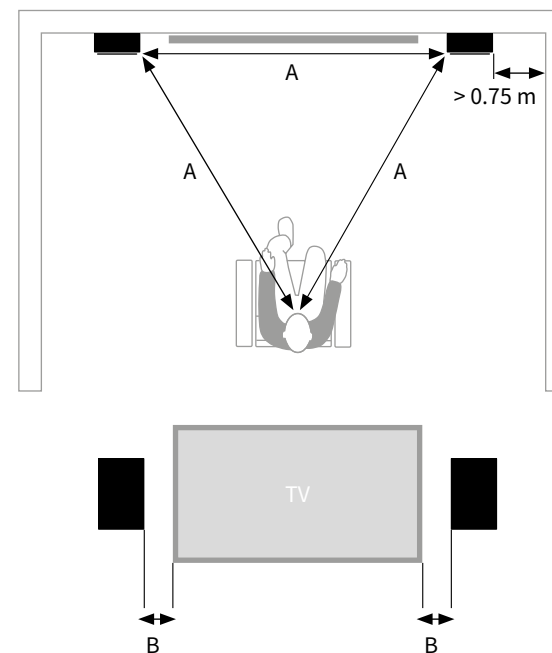


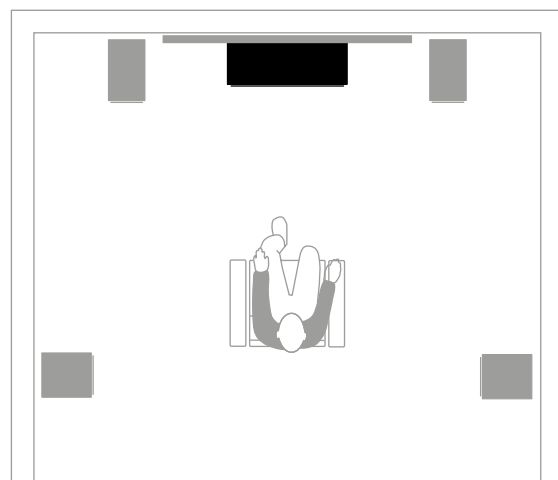
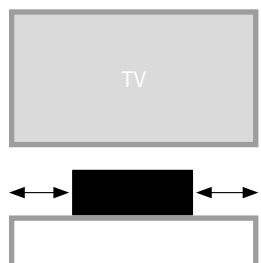
図3B – ステレオ用のセットアップ
DALI OBERON ON-WALL C



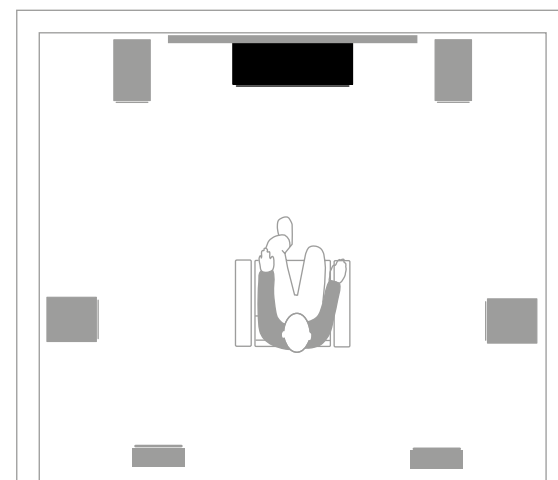
3. 配置と据付

2つのサラウンドチャンネルを使用する (5.1) マルチチャンネルのホームシアターシステムでは、サラウンドスピーカーをリスニングポジションの少し後ろの両側に配置する必要があります。4つのサラウンドチャンネルを使用する (7.1) システムでは、2つの追加のスピーカーをリスニングポジションの後方に配置する必要があります。センターチャンネルスピーカーはテレビの真上か真下に配置する必要があります。図3Cは、マルチチャンネルホームシアターのスピーカー配置位置を示しています。

図3C – ホームシアターシステム
DALI OBERON VOKAL Cとサラウンドスピーカー



5.1システムでは、サラウンドスピーカーはリスナーのすぐ後ろの両側に配置されます。

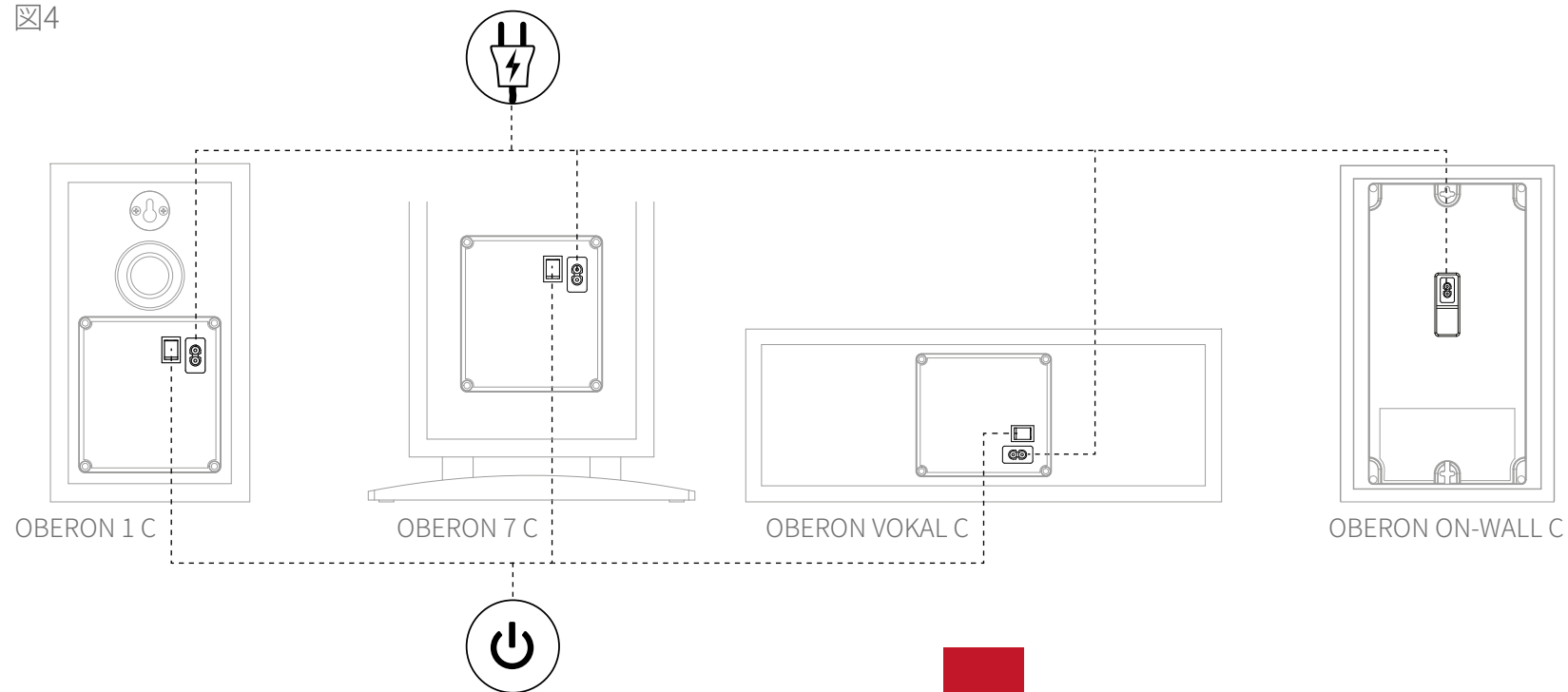


7.1システムでは、リアサラウンドスピーカーはリスナーの後方に、そしてサイドサラウンドスピーカーはリスナーの両側に配置されます。

3. 配置と据付

OBERON Cスピーカーには有線信号接続は不要ですが、主電源への接続が必要です。付属のケーブルを使って、スピーカー背面パネルの電源ソケットから主電源に接続します。電源ソケットの位置は、背面パネルの図4に示されています。

図4



3.1 OBERON 1 CとOBERON 7 C – 配置

OBERON 1 Cスピーカーはスピーカースタンド、棚、壁ブラケットか家具ユニットに取り付けることができます。スピーカーの背面パネルには鍵穴スロットが搭載されているため、スピーカーを壁に直接掛けることもできます。OBERON 1 Cスピーカーをスタンドに据え付けると、最高のオーディオ性能が得られる可能性があります。壁、棚および家具ユニットに据え付けた場合でも優れた性能を発揮できます。

OBERON 7 Cスピーカーは床上に直接設置することを想定しており、他の据付方法には適していません。

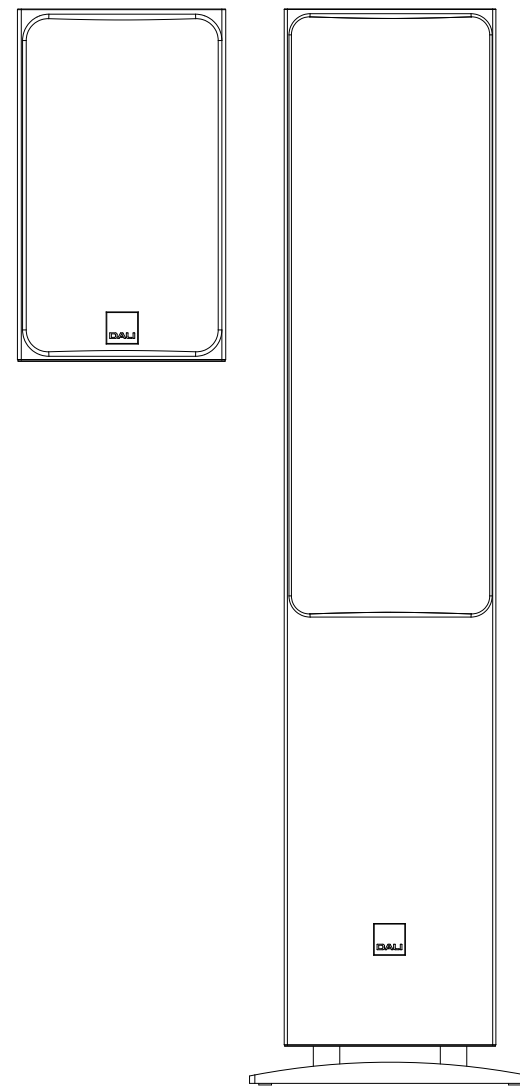
OBERON 1 CとOBERON 7 Cスピーカーのペアは、概して2.0 mから4.0 mの間隔を開けて配置し、プライマリリスニングエリアからもほぼ同じ間隔を確保する必要があります。OBERON 1 Cスピーカーは、リスナーの頭の高さかその少し下に配置することが理想です。スピーカーは必ず部屋の隅から遠ざけるように配置し、それぞれのスピーカーの音響

環境が同じになるようにしてください。例えば、固体壁と厚みのあるカーテンでは音響環境が異なるとみなされます。

当初はスピーカーを後壁から0.3 m以上離して配置するのが効果的です。後壁までの距離は、低音周波数のプロミネンスを調節する際に変更することができます。低音周波数を抑えるには、スピーカーを壁から離します。

OBERON Cスピーカーには、リスニングエリアに対し内向角を生じさせずに据付できるよう最適化された応答特性が備わっています。スピーカーは後壁に対し直角になるように配置するのが最適です。

OBERON 1 CとOBERON 7 Cの配置方法を図3に示します。



IN ADMIRATION OF MUSIC

3.2 OBERON 7 C – フロアスパイクまたは足

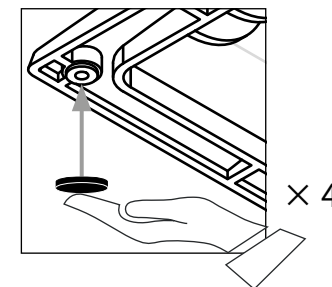
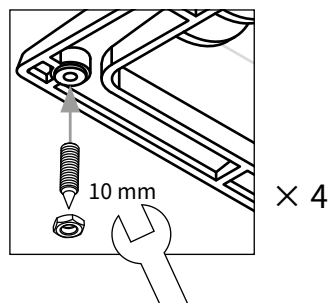
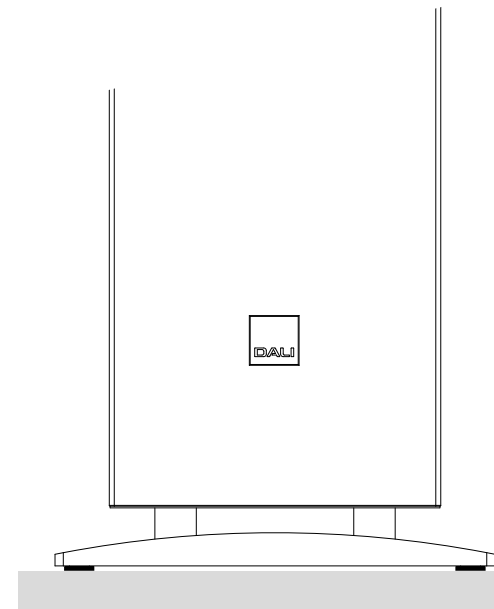
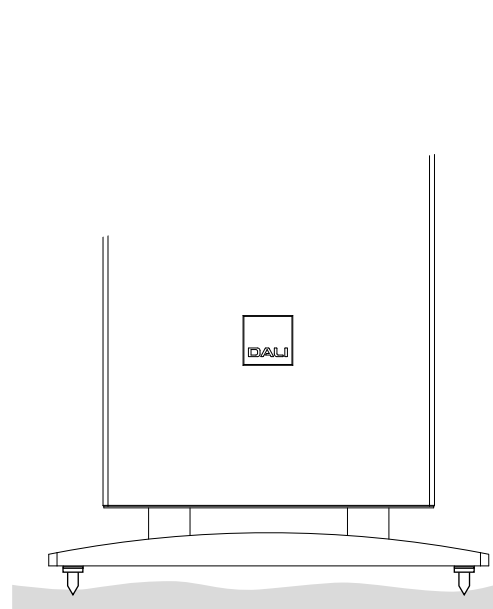
OBERON 7 Cスピーカーの下に取り付けられた台座基部には、付属のフロアスパイクを取り付けるためのネジ穴があります。フロアスパイクは、スピーカーがカーペットの敷かれた床面に設置される場合に使用することをお勧めします。カーペットの敷かれていない床面にスピーカーを設置する場合は、フロアスパイクの代わりに付属の粘着ゴムパッドを使用できます。フロアスパイクを取り付けるには、スパイクを台座の穴にねじ込み、10 mmスパナを使って締付けナットを締めます。スピーカーを最終位置に配置したら、スピーカーが垂直に立ちしっかり安定するようにフロアスパイクを調整することができます。

注意：

フロアスパイクは、床とフロアスパイクの先端の間に硬貨を挿入することにより、カーペット以外の床面でも使用できます。



フロアスパイクを取り付ける際やフロアスパイクが取り付けられたスピーカーを移動する際は十分にご注意ください。



3.3 OBERON ON-WALL C – 配置

OBERON ON-WALL Cスピーカーは、その薄型形状によりさまざまなインテリアデザイン構想に組み込みやすい環境で壁に取り付けられるよう設計されています。これらはステレオの左右、センターおよびサラウンドチャンネルに適しています。スピーカーには、単一のネジを使って壁に掛けることが可能な鍵穴スロットが背面パネルにあります。縦向きと横向きの両方とも可能ですが（後者の場合は2つの取り付けネジを使用）、特にセンターチャンネルで使用する場合は、縦方向のほうがより高いパフォーマンスを得られる可能性があります。

ステレオで使用する場合、OBERON ON-WALL Cスピーカーは、概して2.0 mから4.0 mの間隔を開けて配置し、プライマリリスニングエリアからもほぼ同じ間隔を確保する必要があります。スピーカーをテレビのオーディオに使用する場合は、テレビの水平中心線上で左右等距離になるように配置する必要があります。テレビのオーディオに使用されるスピーカーは、概して音楽専用の場合よりもより近くに配置する方がより効果的です。テレビの側面から各スピーカーまでの距離が0.5 m以上にならないようにしてください。マルチチャンネルのホームシアターシステムでセンターチャンネルとして使用するOBERON ON-WALL Cスピーカーは、テレビの真上または真下に縦方向に取り付ける必要があります。

サラウンドチャンネルおよびより一般的なOBERON ON-WALL Cスピーカーの使用では、リスナーの頭の高さかその少し上に配置することが理想です。スピーカーは必ず部屋の隅から遠ざけるように配置し、それぞれのスピーカーの音響環境が同じになるようにしてください。例えば、固体壁と厚みのあるカーテンでは音響環境が異なるとみなされます。

OBERON ON-WALL Cの配置方法を図3Aと3Bに示します。



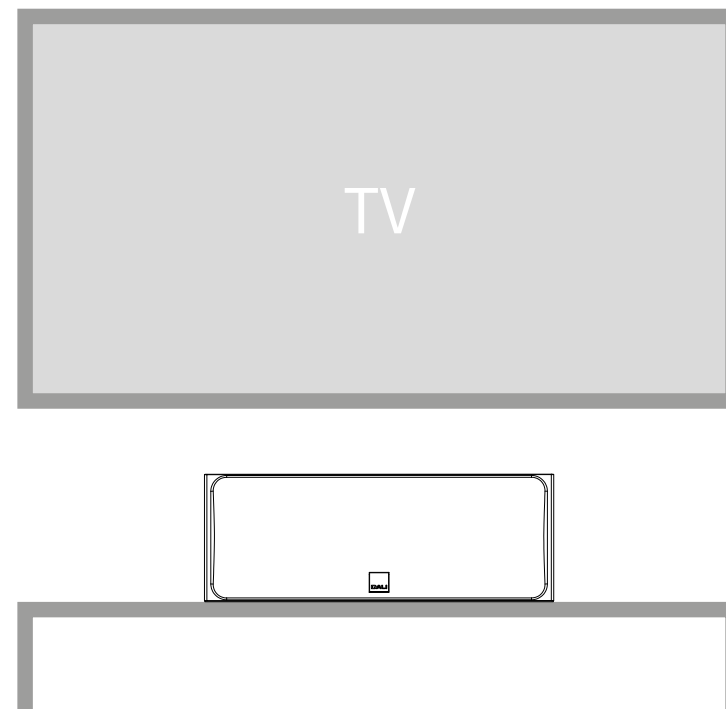
3.4 OBERON VOKAL C – 配置

OBERON VOKAL Cは、主にマルチチャンネルのホームシアターシステムにおけるセンターチャンネルとして使用されることが意図されています。ただし、潜在的にはフロントチャンネルとサラウンドチャンネルのいずれでも使用できます。

センターチャンネルとして使用する場合、OBERON VOKAL Cは、テレビ画面の真上か真下に位置する家具ユニットまたは壁掛け棚に配置するのが最適です。VOKAL Cはテレビ画面の中央に定位する必要があります。VOKAL Cには、可聴振動の可能性を抑え、表面仕上げを保護するために使用可能な粘着性のゴム製足が付属しています。

フロントチャンネルまたはサラウンドチャンネルで使用する場合は、本マニュアルの[セクション3.1](#)に記載されたOBERON 1Cの配置方法のガイドラインに従ってください。ただし、VOKAL Cには取付用の鍵穴スロットがありませんのでご注意ください。

OBERON VOKAL Cの配置方法を[図3C](#)に示します。



3.5 OBERON 1 CおよびON-WALL C壁掛け機能の使用

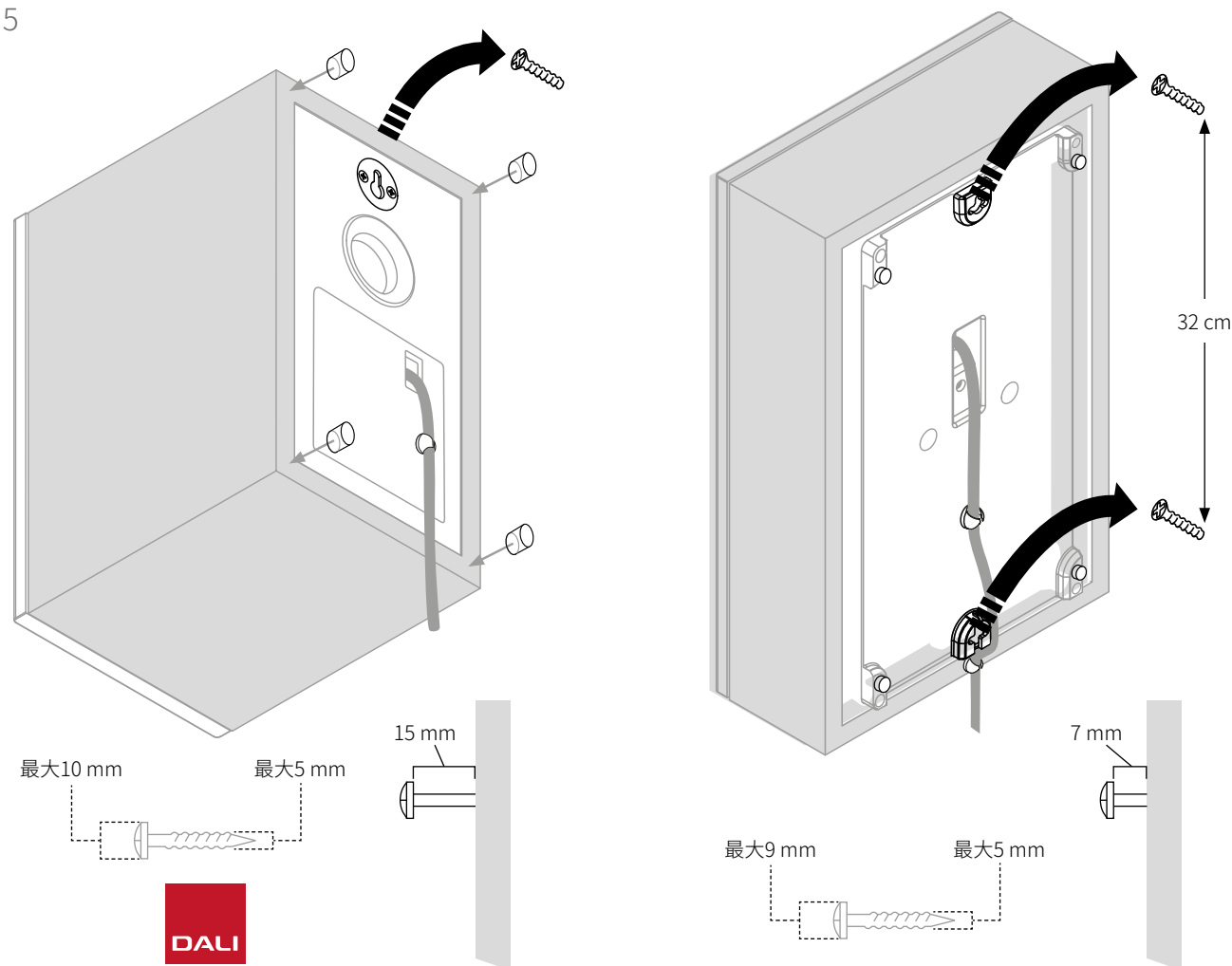
OBERON 1 C and ON-WALL Cの背面パネルには鍵穴スロットが搭載されているため、スピーカーを壁に直接据え付けることができます。開始前に、使用予定の壁と壁の取り付け具がスピーカーの重量を十分に支えられることを確認する必要があります。壁が適切かどうか、またはネジをしっかりと挿入できるかどうか不確かな場合は、助言を求めてください。

OBERON 1 CとON-WALL Cの壁掛け方法を図5に示します。

OBERON 1 C: シャंक径が3～5 mm (0.12～0.20インチ)、最大頭部径が10 mm (0.4インチ) の壁取り付けネジを使用します。ネジの15 mm (0.6インチ) が壁表面から突出するようにします。

OBERON ON-WALL C: シャंक径が3～5 mm (0.12～0.20インチ)、最大頭部径が9 mm (0.35インチ) の壁取り付けネジを使用します。ネジの7 mm (0.28インチ) が壁表面から突出するようにします。

図5

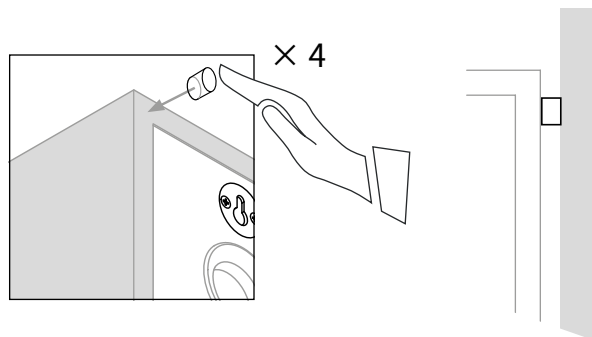


IN ADMIRATION OF MUSIC

3.5 OBERON 1 CおよびON-WALL C壁掛け機能の使用

OBERON 1 C

- 希望のスピーカー位置を決めたら、スピーカーの中央線上の、スピーカーの上部パネルの下30 mm (1.25インチ) にあたる壁の位置に取り付けネジを挿入します。
- 付属の粘着ゴム足をスピーカー背面の角に取り付けます。ゴム足を使うことで、壁に対してスピーカーが振動する可能性を抑えることができます。
- スピーカーをネジまで持ち上げて、ネジ頭が鍵穴スロットに噛み合うようにします。



OBERON ON-WALL C

- スピーカーを縦方向に据え付ける場合、希望のスピーカー位置を決めたら、スピーカーの中央線上の、スピーカーの上部パネルの下30 mm (1.25インチ) にあたる壁の位置に取り付けネジを挿入します。
- スピーカーを横方向に据え付ける場合は、希望のスピーカー位置を決めたら、スピーカーの水平方向の中央線上に、321 mm (12.6インチ) の間隔を開けて2本のネジを挿入します。
- 付属の粘着ゴム足を各スピーカーの後部スペーシングパッドに取り付けます。ゴム足を使うことで、壁に対してスピーカーが振動する可能性を抑えることができます。
- スピーカーをネジまで持ち上げて、ネジ頭が鍵穴スロットに噛み合うようにします。

注意:

横長に据え付ける場合は、前面グリルのDALIロゴを90°回転させることができます。



IN ADMIRATION OF MUSIC

4. スピーカーの接続と設定

OBERON Cシリーズは、DALI SOUND HUBまたはSOUND HUB COMPACTワイヤレスストリーミングプリアンプのいずれかとの組み合わせで使用する目的で設計されています。

注意:

DALI SOUND HUBまたはSOUND HUB COMPACTを、OBERON Cスピーカーと同時に据え付ける場合は、ユーザーマニュアルを手元に用意しておくことをお勧めします。

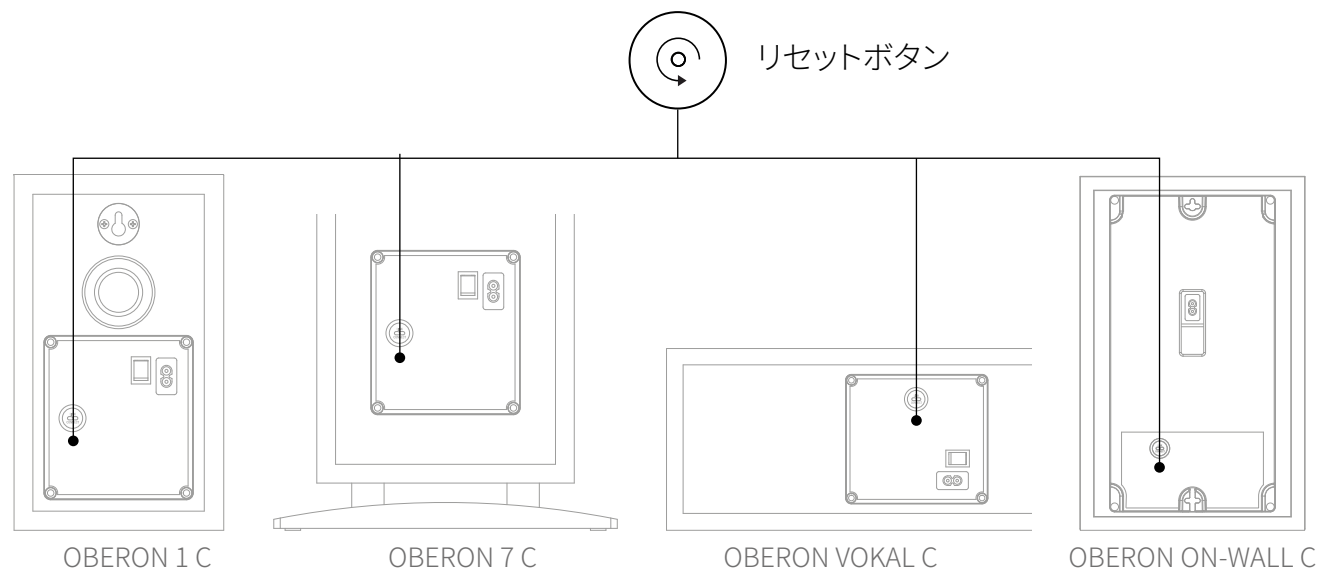
すべてのOBERON Cスピーカーが所定位置に取り付けられ、主電源に接続されたら、背面パネルの主電源スイッチを使って電源を入れます。主電源スイッチの位置は図4に示してあります。スイッチを入れると、背面パネルの電源インジケータが赤く点灯します。すべてのスピーカーの電源がオンにされたら、次のページに記載された手順に従います。

注意:

背面パネルにアクセスするには、OBERON ON-WALL Cスピーカーを一時的に壁から取り外す必要がある場合があります。

注意:

OBERON Cスピーカーが以前に使用されたことがある場合は、リセットする必要がある場合があります。スピーカーをリセットするには、適切なツールを使って背面パネルのRESETピンホールボタンを1秒間押します。リセットボタンの位置は下図に示してあります。



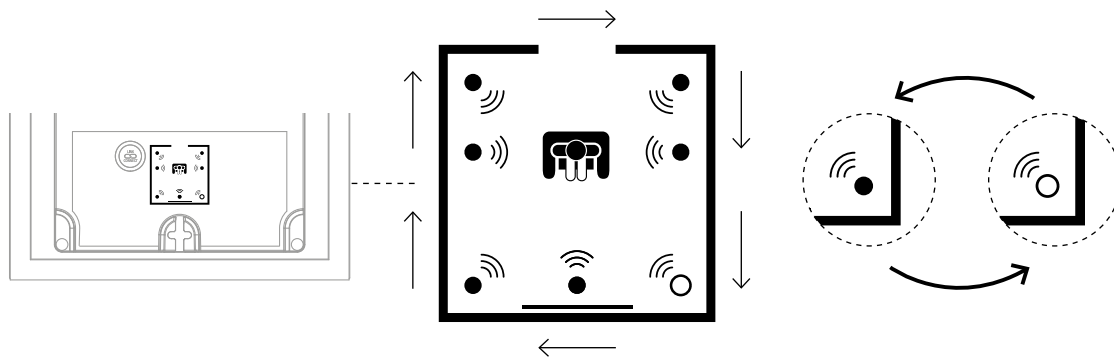
IN ADMIRATION OF MUSIC

4. スピーカーの接続と設定

SOUND HUBかSOUND HUB COMPACTで電源をONにし、LINK & CONNECTボタン^Aを押します。SOUND HUBかSOUND HUB COMPACTは、ユーザーマニュアルに記載されているように、スピーカーの接続モードを示します。

- 次に、システムのいずれかのOBERON Cスピーカーに戻り、背面パネルのLINK & CONNECTボタンを押します^B。電源インジケータが緑色に点灯し、SOUND HUBまたはSOUND HUB COMPACTへの接続中、スピーカーチャンネルマトリックスインジケータは周期的に点灯します。

- 接続が確立されると、周期的な点灯が停止し、スピーカーから短い確認音が鳴り、SOUND HUBまたはSOUND HUB COMPACTで使用可能なチャンネルのマトリックスインジケータが点滅します。SOUND HUBの場合、使用可能なチャンネルは、オプションのHDMIモジュールがあるかどうかによって異なります。SOUND HUB COMPACTの場合、左右のチャンネルのみが使用可能になります。



IN ADMIRATION OF MUSIC

4. スピーカーの接続と設定

- ・スピーカー背面パネルのチャンネルマトリックス表示には、使用可能な各チャンネル位置にインジケータが搭載されています。これにより、スピーカーを適切なチャンネルに割り当てることができます。

スピーカーのLINK & CONNECTボタンを押すと、スピーカーに割り当てられたチャンネルが変更されます **C**。1つ目のスピーカーがデフォルトで既に適切なチャンネルに割り当てられている場合は、LINK & CONNECTボタンを1回押すだけで済みます。スピーカーを他のチャンネルに割り当てするには、LINK & CONNECTボタンをさらに押す必要があります。適切なチャンネルがスピーカーに割り当てられるまで、このボタンを繰り返し押します。

- ・最初のスピーカーがSOUND HUBかSOUND HUB COMPACTに接続され、チャンネルが割り当てられたら、次のスピーカーに移動して、このチャンネル割り当てプロセスを繰り返します **D E**。

- ・システムのすべてのスピーカーが接続され、チャンネルが割り当てられたら、SOUND HUBかSOUND HUB COMPACTに戻り、LINK & CONNECTボタンを押してスピーカー接続プロセスを完了します **F**。すべてのスピーカーが短い確認音を発し、SOUND HUBまたはSOUND HUB COMPACTはスピーカー接続モードを終了します。

SOUND HUBまたはSOUND HUB COMPACTの接続手順を図6Aおよび6Bに示します。

注意：

SOUND HUBまたはSOUND HUB COMPACTには合計10台のスピーカーを接続することができます。詳細については、それぞれのユーザーマニュアルを参照してください。

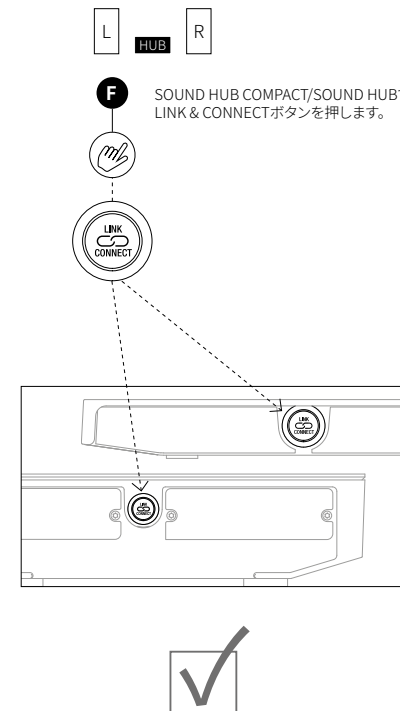
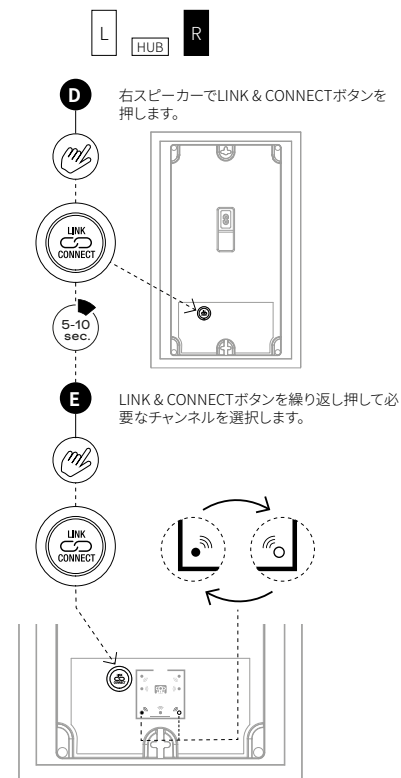
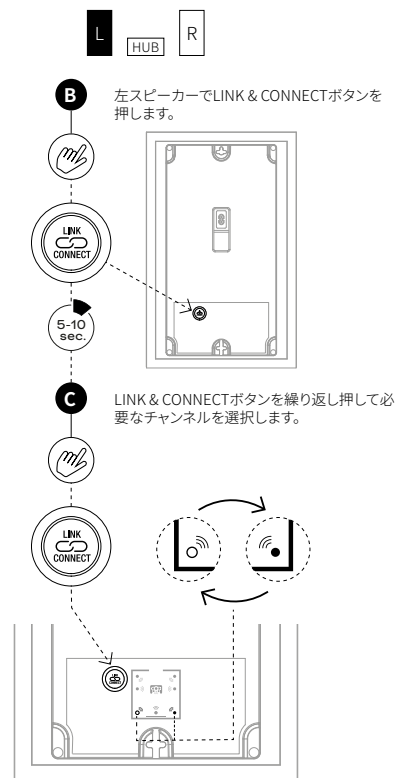
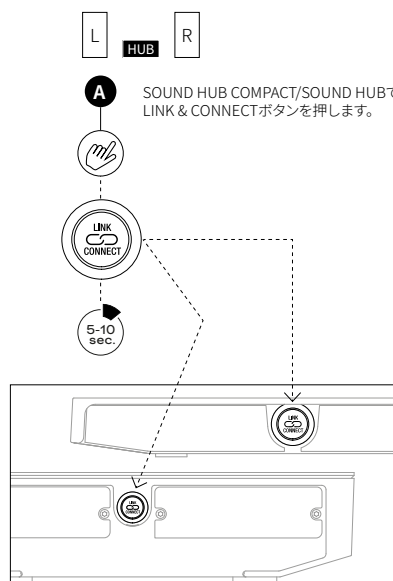
4. スピーカーの接続と設定

図6A – ステレオシステム

注意:

SOUND HUB COMPACTまたはHDMIモジュール非搭載のSOUND HUBを使ったシステム

SOUND HUBまたはSOUND HUB COMPACTの電源がONになっている必要があります。

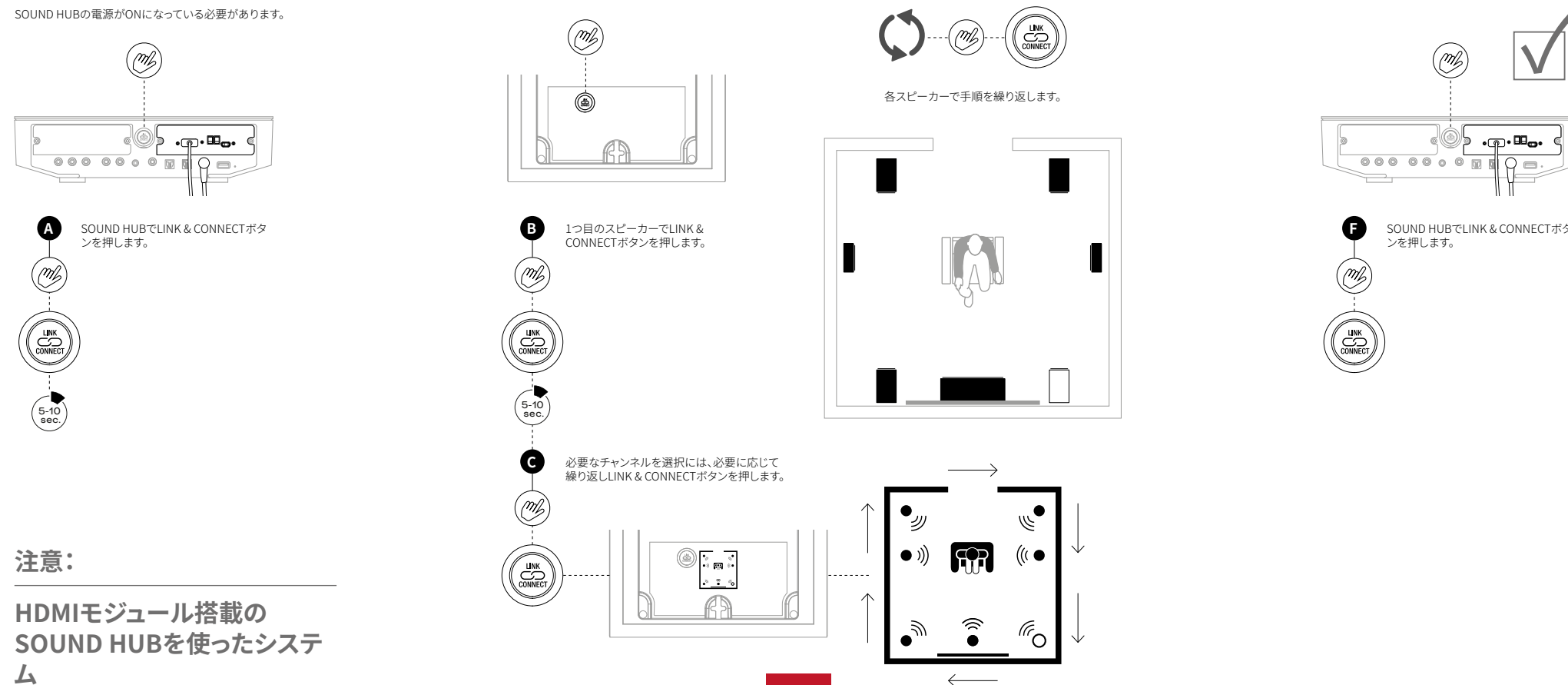


IN ADMIRATION OF MUSIC

4. スピーカーの接続と設定

図6B – マルチチャンネルのホームシアターシステム

SOUND HUBの電源がONになっている必要があります。



注意:

HDMIモジュール搭載の
SOUND HUBを使ったシステム



IN ADMIRATION OF MUSIC

5. リスニングと使用

OBERON Cスピーカーが据え付けられ、SOUND HUBまたはSOUND HUB COMPACTに接続されたら、リスニングを開始できます。SOUND HUBかSOUND HUB COMPACTでアクティブ入力音源を選択し、少しずつ音量を上げます。システムの両方のスピーカーが機能しており、リスニングポジションでステレオイメージがぴったり合っていることを確認します。これには自分がよく知っている音楽を使用することをお勧めします。

リスニングスペースでのOBERON Cスピーカーのパフォーマンスを把握できたら、スピーカーの位置を調節してサウンドを微調整することをお勧めします。スピーカーを壁に近づけたり壁から遠ざけることにより、低音周波数のプロミネンスを増大させたり減少させることができます。当初、音が明るすぎると感じられる場合は、リスニングスペースに繊維製インテリア製品やカーテンを導入することでこれを緩和できますが、新しいスピーカーの音に慣れてくるにつれ、その明るさが減少するように感じられる可能性があります。

OBERON Cスピーカーは、グリルを外した状態でも使用できます。ただし、家庭に興味津々の子どもやペットがいる場合は、グリルを使用することを強くお勧めします。グリルを取り外す際は、スピーカー本体からゆっくりと引き離します。取り付ける際は、グリルのペグとソケットの位置を合わせ、ゆっくりと押します。

弊社では、OBERON Cスピーカーを最初からお楽しみいただけることを期待し、そのように予想していますが、使用開始後の数時間や数日中は、ドライバーのサスペンション部品が緩んだりするため、パフォーマンスにわずかな変化が生じる可能性があります。これは、スピーカーが動作環境温度よりも低い温度で保管されていた場合に発生する可能性が高くなります。

5. リスニングと使用

OBERON Cスピーカーは、典型的な家庭用リスニングスペースで通常必要とされるレベルをはるかに超える大音量で音楽を再生することができますが、ときには大音量で音楽を楽しみたいと感じることもあります。そのような場合は近所の人々に配慮してください。また、スピーカーの損傷のリスクを示唆する可能性がある歪みがないか、注意して聴いてください。

OBERON Cスピーカーは、家庭内にある他の高価値品に対して行う以上の特別な手入れを必要としません。柔らかい乾燥した布を使ってキャビネットパネルの埃を取り除いてください。洗浄液やスプレーの使用はお勧めしませんが、家具用光沢剤を使用する場合は、スピーカーのパネルに直接塗布するのではなく、布につけてください。ベース、ミッドレンジドライバーのコーンおよび布製グリルの埃は、柔らかいブラシを使って取り除くことができます。ツイーターのドームを掃除したり埃を取り除くことはお勧めしません。

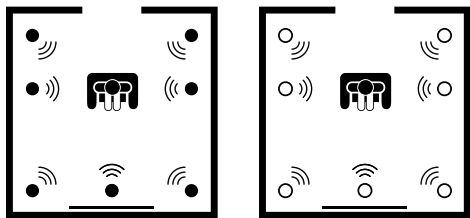
DALIは、OBERON Cスピーカー用のファームウェアのアップデートを随時リリースすることがあります。これは、背面パネルのUSBコネクタを通じてアップデートすることができます。ファームウェアをアップデートすることで、パフォーマンスや信頼性を向上させたり、新機能を使用できるようになります。ファームウェアのアップデートはDALIウェブサイトからダウンロードでき、アップデートプロセスに関する詳細な説明も提供されます。

6. 異常の表示

稀にOBERON Cスピーカーが正常に動作しなくなった場合、ここに記載された異常表示と解決策により問題が解決される可能性があります。詳細なヘルプはいつでもDALI、お近くの販売店、またはDALIウェブサイトのサポートページから得ることができます。

ワイヤレスオーディオリンクエラー

7つのスピーカー位置インジケータすべてが2回繰り返し点滅する場合。



処置:

最初にSOUND HUBまたはSOUND HUB COMPACTに電源が入っていることを確認します。これにより問題が解決されない場合は、障害のあるOBERON Cスピーカーの電源を切り、入れ直します。それでも問題が解決されない場合は、ユーザーマニュアルにある説明に従ってシステム(SOUND HUB/SOUND HUB COMPACTおよびスピーカー)をリセットし、本マニュアルのセクション4の説明に従ってスピーカーを再接続します。

一般的なハードウェア障害

背面パネルのサービスインジケータが赤とオレンジに交互に点灯する場合。



処置:

OBERON Cの電源を切り、入れ直します。それでも問題が解決されない場合は、DALIまたはお近くの販売店や代理店に連絡し、サービスアドバイスを依頼してください。

アンプの過熱

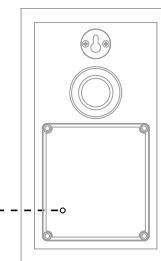
背面パネルのRESETピンホールボタンが赤く点滅する場合。



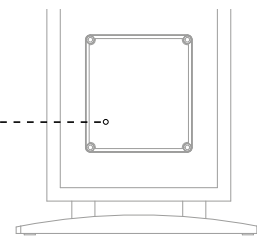
処置:

音楽を一時停止し、アンプを冷まします。自動的に電源が入ります。それでも問題が解決されない場合は、一般的なハードウェア障害の可能性がありま。DALIまたはお近くの販売店や代理店に連絡し、サービスアドバイスを依頼してください。

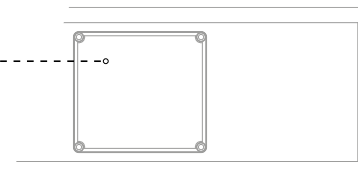
サービスインジケータ



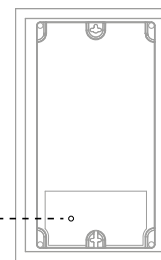
OBERON 1 C



OBERON 7 C



OBERON VOKAL C



OBERON ON-WALL C



IN ADMIRATION OF MUSIC

7. 技術仕様

	OBERON 1 C	OBERON 7 C	OBERON ON-WALL C	OBERON VOKAL C
周波数範囲 (±3 dB) (Hz)	39~26,000 Hz	31~26,000 Hz	51~26,000 Hz	47~26,000 Hz
最大SPL (dB)	106 dB	108 dB	107 dB	107 dB
クロスオーバー周波数 (Hz)	2350 Hz	2450 Hz	2700 Hz	2450 Hz
クロスオーバー原理	フルアクティブ 24 Bit DSP	フルアクティブ 24 Bit DSP	フルアクティブ 24 Bit DSP	フルアクティブ 24 Bit DSP
高周波数帯域ドライバー	1 × 29 mmソフトドームツイーター	1 × 29 mmソフトドームツイーター	1 × 29 mmソフトドームツイーター	1 × 29 mmソフトドームツイーター
低周波数帯域ドライバー	1 × 5.25"	2 × 7"	1 × 5.25"	2 × 5.25"
エンクロージャーのタイプ	バスレフ型 (リアポート)	バスレフ型 (リアポート)	バスレフ型 (リアポート)	バスレフ型 (フロントポート)
レフレックスチューニング周波数 (Hz)	52 Hz	40 Hz	52 Hz	46 Hz
アンプ出力 (W)	2 × 50 W	2 × 50 W	2 × 50 W	2 × 50 W
アンプのタイプ	D級	D級	D級	D級
ワイヤレス入力	フル24 Bit / 96 kHz (非圧縮)	フル24 Bit / 96 kHz (非圧縮)	フル24 Bit / 96 kHz (非圧縮)	フル24 Bit / 96 kHz (非圧縮)
ワイヤレスオーディオRF帯域 (MHz)	5150~5250 MHzおよび5725~5875 MHz*	5150~5250 MHzおよび5725~5875 MHz*	5150~5250 MHzおよび5725~5875 MHz*	5150~5250 MHzおよび5725~5875 MHz*
入力電源	ユニバーサル主電源 100~240 VAC	ユニバーサル主電源 100~240 VAC	ユニバーサル主電源 100~240 VAC	ユニバーサル主電源 100~240 VAC
最大消費電力 (W)	62 W	62 W	62 W	62 W
スタンバイ消費電力 (W)	1	1	1	1
ネットワーク接続スタンバイ消費電力** (W)	1.25 W	1.25 W	1.25 W	1.25 W
ネットワーク接続スタンバイになるまでの時間	20分未満	20分未満	20分未満	20分未満
推奨設置場所	スタンド/棚	床	壁	棚
壁までの推奨距離 (cm)	1~50 cm	15~100 cm	壁上	1~50 cm
寸法 (H × W × D) mm	274 × 162 × 234 mm	1015 × 200 × 340 mm	385 × 245 × 120 mm	162 × 441 × 295 mm
重量 (kg/lb)	4.2 kg / 9 lb	14.8 kg / 32 lb	4.9 kg / 10 lb	7.5 kg / 16.4 lb
付属品	クイックスタートガイド、電源ケーブル、フロントグリル、ゴム足、シリコン製バンパー	クイックスタートガイド、電源ケーブル、フロントグリル、ゴム足、スパイク	クイックスタートガイド、電源ケーブル、フロントグリル、ゴム足、シリコン製バンパー、ケーブルクリップ	クイックスタートガイド、電源ケーブル、フロントグリル、ゴム足

* 日本を除く

** SOUND HUB / SOUND HUB COMPACTの電源が切られても、スピーカーはネットワーク接続されたままスタンバイ状態になることにご注意ください。

